

# 知っていますか？アダルトビデオ出演被害問題 こんな被害が起きています

## 【親切なふりをして近づく例】

駅前で待ち合わせていた時に、話しかけてきた人が親切そうだったのでSNSのアカウントを交換した。一人で寂しいときなど、SNSで相談にのってもらうようになった。

「お金がない」と送ったら「いいバイトがあるよ」と返事があり、行ってみたら、AVの撮影だった。



## 【アイドルになりたい心情を利用した例】

アイドルになりたくて、タレント事務所に応募したら、すぐにオーディションに来るように言われた。「仕事が決まったよ」と言われたが、その仕事はAVの撮影だった。



## 【詳細を示さずに面接を行う例】

ネットで探したモニター、モデルのアルバイトには詳しい仕事内容が書かれていなかったが、面接に行くとAV出演に誘われた。



## 【断りたくても断れない例】

AV出演することになったが、怖くなったので、断ろうとすると、「もうオーディションが決まってしまった。行くだけ行って断ればいいよ」と言われて、オーディションを受けたら、「まさか、今から断らないよね？」と言われて、出演を断れなかった。



## 【契約書がない例】

学費や生活費のために働いていたが、コロナの影響を受け収入が減ってしまい、素人もののAVに出演することにした。ただ、個人で販売等している人で契約書は交わしていない。



## 【撮影時の被害例】

聞いていなかった性行為を撮影された。



## 【公表後の被害例】

撮影された映像が知らないうちに出回り、いつまでも消すことができない。（「デジタルタトゥー」といわれています。）

家族、友人、学校や職場の人などに自分がAVに出たことを知られたり（顔がばれる）、知られないかとおびえたりする。

AVに出たことを知られて、家族や友人、職場の人とうまくいかなくなる。

そのAV出演契約、やめることができます。  
AV出演被害や性暴力の悩み、ひとりで抱えこまないで。  
ためらわずに、ご相談ください。

電話で  
相談

性犯罪・性暴力被害者のための  
ワンストップ支援センター

はやくワンストップ  
#8891

SNSで  
相談

性暴力に関するSNS相談  
Cure time (キュアタイム)

Cure timeは  
こちらから

